

## 【事業報告】

### I 畜産経営の安定と技術の向上に係る支援及び畜産への理解醸成を図る事業

#### 1 畜産経営を支援する事業

##### (1) 畜産経営指導体制円滑化推進事業 (補助：茨城県、継続) 公益

安定的な畜産経営を推進するため、畜産コンサルタント職員を5名設置し、経営感覚に優れた畜産経営体を育成・支援しました。

##### (2) 地域畜産総合支援体制整備事業 (受託：茨城県、継続) 公益

県総合計画に基づく儲かる経営体の育成を重点的に推進するため、個別経営指導の実施や、それらに対応する指導者の育成を実施しました。

###### ア 事業推進検討会の開催

対象農家の選定や支援内容の検討など、県関係機関との具体的な調整を行う検討会を開催しました。(事業推進検討会：2回)

###### イ 畜産経営指導者育成セミナーの開催

畜産農家に対する生産技術・経営管理の両面から支援指導できる人材を育成するため、指導者育成セミナーを開催しました。

(畜産簿記編2日・畜産税務編2日・畜産経営分析編1日)計5日

###### ウ 個別経営指導の実施

事業推進検討会において選定した経営体について、外部専門家等を活用した経営分析・指導支援を行いました。

区分	経営診断改善指導	生産技術指導	計
酪農	2件	6件	8件
肉用牛	4件	8件	12件
養豚	4件	4件	8件
養鶏	-件	1件	1件
計	10件	19件	29件

###### エ 畜産関係の情報提供及び指導用機器の整備

畜産経営に関する情報提供と経営支援のための機器整備を行いました。

・年間ホームページアクセス数100万アクセス

##### (3) 畜産特別資金等推進指導事業 (補助：中央畜産会、継続) その他

###### ア 県支援推進協議会の開催

推進協議会を開催し借受者に対する重点指導事項等の検討を行いました。

・令和3年10月15日 水戸市(JA会館) 参加者：協議会員18名

###### イ 借入者の経営改善のための指導等

県推進協議会と県内関係機関が連携を図り、借受者及び融資機関に対し経営改善のための支援指導を行いました。

- ・借受者 2 件（畜産経営維持緊急支援資金：肉用牛 1 件・養豚 1 件）

(4) 貸付事業指導等事業 (受託：畜産近代化リース協会、継続) **その他**

畜産近代化リース協会より貸付された機械施設の効率的な利用を図るため、現地確認や管理状況についての調査及び指導を行いました。

- ・管理状況調査 2 経営体 2 物件 ・ 新規開拓調査 132 経営体

(5) 生産基盤拡大加速化(肉用牛)事業 (受託：全国肉用牛振興基金、継続) **その他**

輸出の拡大に向けて和牛の増産を推進するため畜産クラスター協議会が定める畜産クラスター計画に基づく増頭の実施の円滑な実施を図るため、事業要望書及び事業実施計画書の取りまとめ等の推進業務を実施しました。

- ・9 取組主体 対象頭数 415 頭

(6) 家族経営における畜産 DX 推進事業 (受託：中央畜産会、新規) **その他**

畜産経営における生産性の向上や労働負担の軽減等に向けて、畜産のデジタルトランスフォーメーション（畜産 DX）を推進し、畜産 DX 技術導入の経済的効果等の評価手法を確立し、家族経営における効率的な導入を支援しました。

## 2 畜産技術の向上や生産基盤の整備を図る事業

(1) 良質堆肥広域流通促進事業 (補助：茨城県、継続) (単独：継続) **公益**

畜産農家と耕種農家の連携を強化し、堆肥生産・利用双方の情報収集や交流を進めました。また、良質堆肥の生産及び広域流通を推進することにより、資源循環型農業を促進し農畜産業の安定的発展を図りました。

ア 堆肥利用集団の組織化支援及び広域流通促進

(ア) 堆肥コーディネーターを設置し、堆肥の需給情報を収集することにより堆肥の流通・利用の促進を図りました。

- ・堆肥に関する問合せ件数 51 件

(イ) 耕種農家と畜産農家のマッチングを強化するため、マッチング部会を開催して、耕畜双方の情報交換を行いました。

- ・令和 3 年 11 月 25 日 笠間市 参加者 26 名

(ウ) 堆肥の広域流通を促進するため、堆肥生産者名簿を作成し、耕種農家に堆肥生産者情報を提供しました。

(エ) 県や JA 等の協力を得て、堆肥需要調査を実施するとともに特殊肥料届出を推進しました。

- ・調査件数 33 件
- ・特殊肥料の届出 6 件

イ 堆肥の新たな活用・販売ルートの開拓支援

(ア) 霞ヶ浦流域で生産される良質な堆肥を肥料メーカーに供給することで農業以外での利用を促進、支援しました。

- ・肥料メーカーへの堆肥の供給 10.49 t

(2) 地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業 (補助：農畜産業振興機構、継続) **公益**

肉用牛の生産基盤を強化するため、肉用牛繁殖経営が行う高能力繁殖雌牛の導入及び増頭に資する施設整備の取り組みに助成しました。

- ・中核的担い手増頭推進 4 集団 43 頭
- ・遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保 1 集団 1 頭
- ・増頭に資する施設整備 (簡易牛舎) 4 集団 10 施設

(3) 銘柄畜産物ブランド支援事業 (補助：茨城県、継続) **公益**

県内養豚農家の種豚の能力向上を推進するため、県畜産センター養豚研究所で造成された系統豚「ローズ D-1」による種豚の更新に対し助成しました。

- ・戸数 29 戸 51 頭

(4) 畜産経営指導体制円滑化推進事業 (補助：茨城県、継続) **その他**

ア 家畜改良支援事業

本県の優秀な種畜の血統の保持と能力向上を図り、子豚登記及び種豚登録を推進しました。また、肉豚経営安定交付金制度及び肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る生産者への支援等を推進しました。

イ 畜産協会組織強化事業

畜産情勢の変動に対応した指導支援を実施するため、常勤役員及び畜産アドバイザーを設置し、畜産協会の組織執行体制の強化を図りました。

(5) 畜産共進会開催事業 (補助：茨城県、継続) **その他**

家畜の改良増殖を促進するため、広域的な共進会について、開催経費の一部を助成しました。

(6) 繁殖雌牛整備推進事業 (受託：茨城県、継続) **その他**

優良繁殖雌牛群の整備を推進するため、肉用牛繁殖農家を対象に繁殖雌牛育種価分析値にもとづく支援を実施しました。

- ・対象戸数 365 戸 育種価判明頭数 2,336 頭

(7) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）

（受託：中央畜産会、継続）**その他**

畜産クラスター協議会が定める畜産クラスター計画等に基づき、地域の収益性向上等に  
必要な機械器具等（リース・購入）の導入を図るため、事業の推進業務、及び機械導入状  
況調査に係る機械の現地確認を2件実施しました。

要 望			採 択		
協議会数	経営体数	機械数	協議会数	経営体数	機械数
9	44	84	9	44	84

(8) 畜産経営体生産性向上緊急対策事業（畜産 ICT）

（受託：中央畜産会、継続）**その他**

県内の畜産 ICT 応援会議が地域酪農、肉用牛経営の労働負担軽減に資する省力化機械装  
置の導入の円滑な推進を図るため、推進指導、現地調査及び取りまとめ等を行いました。

	要 望			採 択		
	協議会数	経営体数	機械数	協議会数	経営体数	機械数
第1回	3	11	11	3	11	11

(9) 畜産・酪農生産力強化対策事業（家畜生産性向上対策）

（受託：中央畜産会、継続）**その他**

家畜生産性向上を図るため、家畜の遺伝的能力を最大限に発揮させるための生産性デー  
タ等の収集・分析、技術指導を実施しました。

- ・対象戸数 4戸

(10) 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（楽酪 GO）

（受託：中央畜産会、継続）**その他**

県内の楽酪応援会議が地域酪農の労働負担軽減に資する省力化機械装置の導入と一体的  
な施設の補改修・増築を推進するうえで、事業の円滑な推進を図るため、普及推進等を行  
いました。

- ・令和3年度 要望なし

(11) 養豚経営安定対策補完事業

（補助：農畜産業振興機構、継続）**その他**

産子数の向上や配合飼料の節減など生産コストの低減を図るため、一代雑種雌豚の導入  
に要する経費の一部を補助しました。

- ・種豚導入 5集団 232頭

(12) 茨城県自給飼料研修会事業

（受託：茨城県、継続）**その他**

自給飼料の成分分析と官能評価を通じて、農家が自給飼料生産方法や調製方法の確認を

行うと共に、良質サイレージ生産技術についての理解を深めました。

- ・官能評価会（令和4年3月10日）
- ・成分分析（令和4年3月15日）

**(13) 銘柄畜産物ブランド支援事業（常陸牛輸出促進）**

（補助：茨城県 受託：茨城県常陸牛振興協会、継続） **その他**

銘柄和牛「常陸牛」の知名度向上と消費拡大を図るため、インターネットを活用した情報発信を行い東南アジア等を中心に輸出を促進しました。

ア 常陸牛ホームページを活用した広報宣伝

- ・指定店、推奨店の情報やイベント情報の発信

イ 常陸牛ホームページの運営管理

- ・常陸牛海外販売推奨店 33店舗（ベトナム17・タイ7・米国6・シンガポール3）

**(14) ブランド豚肉生産拡大事業**

（受託：茨城県、継続） **その他**

茨城県が造成したデュロック種系統豚ローズD-1を活用した銘柄豚「常陸の輝き」について、生産拡大や品質の安定化、流通・販売の円滑化を図るため、専門職員を設置し、銘柄推進組織の運営や販売PR活動を行いました。

ア 常陸の輝き推進協議会において、事業計画や生産基準の運用について検討や、生産者部会を開催し、意見交換を行いました。

イ 生産対策

品質維持のため、生産者各個の肉質分析と食味評価を実施し、新たな生産希望者に対し個別訪問を行いました。

ウ 流通・販売PR活動

店舗巡回、販路開拓のため商談、キャンペーン等を実施しました。

- ・巡回等：6店舗 ・商談会：3回 ・キャンペーン2回

**(15) 畜産関係団体調整機能強化事業**

（受託：中央畜産会、継続） **その他**

県内生産者等からの各種相談に対応するため、当協会職員のスキルアップのための研修及び、県及び関係団体との連携強化のための打合せ等に参加しました。

- ・参加回数 16回

**(16) 家畜登録推進事業**

（単独、継続） **その他**

県、市町村及び関係団体の協力を得て種豚登録、子豚登記を積極的に実施するとともに系統豚の認定規定に関する証明と豚人工授精用精液の販売を行いました。

- ・種豚登録 323件 子豚登記 534件 一代雑種血統証明 484件
- ・豚人工授精用精液販売 1,890本

(17) 畜産振興対策事業

(単独、継続) **その他**

県及び国等に対する畜産行政施策の要請活動や、共進会等への協力・支援及びその他畜産振興に係る事業を行いました。

ア 畜政活動

県内の畜産関係団体との連携を図りながら、畜産行政施策に係る提言や県要請活動を行いました。

イ 生産流通促進

畜産関係団体が開催する各種共進会等を支援しました。

ウ 情報誌編集発行事業

畜産に関する経営管理技術、家畜衛生対策、市場取引状況、イベント等、各種情報を畜産関係者等に提供するため、情報誌「畜産茨城」の発行を行いました。

- ・発行部数 6,000部(年6回発行)
- ・配布先 会員、市町村、県関係機関、畜産関係団体等

(18) 畜産大賞選定事業

(単独、継続) **その他**

「畜産大賞」審査委員会を開催し、本県の畜産振興に特に貢献のあった個人・団体を選定しました。(令和4年3月7日)

部門	賞	受賞者	内容
経営・指導	最優秀賞	下妻市 倉持ピッグファーム(株) 代表取締役 倉持 勝 氏	自社ブランド「伝説の下妻金豚」の生産から加工販売まで行う6次化産業に取り組む先進的な経営であり、数多くのコンテストで受賞するなど、儲かる農業を実現している。
地域振興	最優秀賞	稲敷市 (株)本新草地 代表取締役 大久保 建治 氏	県内コントラクターの草分け的存在で、地域の耕種農家と畜産農家のつなぎ役として、自給飼料の生産推進と耕畜連携に多大な貢献をしている。
	優秀賞	常陸大宮市 中島 博史 氏	県北地域の肉用牛農家のリーダー的存在として、畜産農家の地位向上・発展や、若手育成などに尽力した。

(19) 畜産経営災害総合対策緊急支援事業

(補助：農畜産業振興機構、継続) **その他**

災害等による停電時における畜産経営体の経営継続のため、家畜の生命維持に要する機械の可動のために使用する非常用電源の整備を行いました。

- ・非常用電源の整備 2集団 2台

(20) 肉豚経営安定交付金制度に係る連絡調整業務事業

(受託：農畜産業振興機構、継続) **その他**

制度の内容・適切な事務処理について周知を行い、制度に関する照会対応及び適正実施を図るための連絡調整等を行いました。

3 畜産の理解醸成を図る事業

(1) 畜産振興補助事業 (補助：地方競馬全国協会、継続) (単独：継続) **公益**

畜産経営の安定と技術の向上に係る支援、及び消費者等に対する畜産への理解醸成のために取り組む畜産経営支援対策の各種事業を、効率的かつ効果的に推進しました。

ア 畜産経営の支援体制の強化を図る事業

経営体の経営改善を図るためコンサルタントによる改善指導、種畜の能力向上と生産基盤の拡充及び担い手育成を図るための支援やセミナーを実施しました。

イ 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業

県産畜産物の素材提供等による食育活動支援、銘柄畜産物のブランドアップ活動及び優秀な経営体等の功績の表彰を実施しました。

ウ 馬事普及啓発の推進体制の強化を図る事業

畜産物と地方競馬の普及啓発を図るため冠レースを実施しました。

(船橋競馬場:おかげさまで常陸牛 2020 一万頭達成記念)

(2) 畜産ふれあい体験事業 (単独、継続) **公益**

一般消費者等を対象に畜産への知識の普及啓発を図るため「畜産ふれあい体験」を実施予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により中止しました。

(3) 畜産活性化対策事業 (単独、継続) **その他**

県産畜産物の消費拡大を図るため、インターネットを活用した情報発信を行いました。

## II 家畜・畜産物の衛生対策を支援する事業

### 1 防疫体制の整備を図る事業

#### (1) 自衛防疫強化総合対策事業 (補助：茨城県、継続) (単独：継続) 公益

自衛防疫を円滑に実施するため、地域単位での自衛防疫推進会議の開催と、家畜衛生に関する資料を作成し、情報提供による衛生知識の普及向上を図りました。

##### ア 自衛防疫推進会議

場 所	期 日	参加者	期 日	参加者
水戸市	令和3年5月13日	36名	令和4年3月9日(書面)	15市町村
鹿行地域	令和3年5月18日(書面)	5市	令和4年3月9日(書面)	5市
土浦市	令和3年5月12日	33名	令和4年3月16日	28名
筑西市	令和3年5月20日	27名	令和4年3月9日(書面)	10市町

##### イ 広報事業

衛生知識の普及と病原体侵入リスク低減を図るため、印刷物等を作成し配布しました。

- ・豚熱ワクチン接種体制に関するチラシの作成 400部
- ・高病原性鳥インフルエンザ防疫対応マニュアルの作成 4,020部
- ・飼養衛生管理基準遵守状況等に関するチェックシートの作成 2,475部

#### (2) 地域自衛防疫推進事業 (単独：継続) 公益

各市町村衛生指導協会等における家畜伝染病等の組織的な対応が必要な疾病の発生防止対策の取組みに対する助成金を交付し、地域自衛防疫体制の一層の強化・充実を図りました。

#### (3) 家畜防疫互助基金支援事業 (受託：中央畜産会、継続) 公益

豚熱・口蹄疫・アフリカ豚熱・牛疫・牛肺疫の発生による畜産経営への影響緩和のため、生産者への事業加入促進を図りました。

(令和3年度家畜防疫互助事業加入状況)

畜種	加入戸数	加入頭数
乳用牛	175戸	19,268頭
肉用牛	283戸	43,581頭
豚	126戸	351,279頭
合 計	584戸	414,128頭

#### (4) 獣医師養成確保修学資金給付事業 (補助：農林水産省、継続) 公益

獣医学を専攻し産業動物獣医師を志す学生1名に対し、修学資金の給付を行いました。



(5) 馬飼養衛生管理特別対策事業 (補助：中央畜産会、継続) **その他**

地域における馬飼養衛生管理体制の整備を図るため、委員会の開催や、馬飼養者等を対象に講習会を開催し、乗用馬等の獣医療実態調査を行いました。

ア 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催

- ・コロナ感染症対策のため、令和4年2月 書面開催

イ 馬飼養衛生管理技術講習会

- 「馬の飼養衛生管理情報（新しい基準）馬の疾病、栄養管理対策」
- ・コロナ感染症対策のため、令和4年2月 資料配布42名

ウ 地域馬獣医療実態調査

- 馬飼養者に対して、衛生管理の概念や飼養馬の疾病予防に関する認知度及び獣医療の実態について調査を行いました。
- ・調査戸数：157戸 回答戸数：70戸

(6) 家畜防疫・衛生指導対策事業 (補助：中央畜産会、継続) **その他**

ア 地域自衛防疫活動推進対策

口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ等の発生時に、迅速かつ的確な防疫措置が講じられるよう、農場での初動防疫体制の充実・強化を図るため、防疫演習を実施しました。

また、市町村等の動員関係者を参集して実施する一定規模の実地演習は、新型コロナウイルス感染症対策として演習動画を配信することにより代替し、各所における独自の視聴及び実地演習等の実施促進を図りました。

- ・令和3年10月25日（水戸市） 参加者80名
- ・令和3年10月26日（筑西市） 参加者45名
- ・令和3年11月9日（常陸太田市）参加者67名
- ・令和3年11月29日（水戸市） 参加者88名
- ・令和3年11月～（演習動画配信）

イ 慢性感染症清浄化支援対策

県内の酪農家、肉用牛繁殖農家における牛伝染性リンパ腫及び牛マイコプラズマ乳房炎の清浄化に向けて、防疫支援検討会を開催し、モデル農場における清浄化対策の検討及び実証調査等を行いました。

- ・モデル実証農場：20戸
- ・検査頭数：1,316頭

ウ 地域農場 HACCP 認証支援事業

農場 HACCP 認証構築指導を受ける7農場、認証取得後のフォローアップ指導を受ける4農場に対し指導技術者の指導料等の助成を行いました。

今年度、認証取得の取り組みを開始した肉用牛飼養農場に対し事業説明、農場 HACCP 審査員による講義を行い、指導技術者と認証取得の進め方について協議しました。

また、家畜飼養農場に対し、農場 HACCP 認証の取得を推進するための周知活動（畜産茨城、茨城県獣医師会雑誌、当協会 HP への事業内容等の掲載）を行いました。

(7) 地域豚疾病緊急対策推進事業

(補助：中央畜産会、継続) **その他**

養豚農場で生産性を著しく阻害する疾病（PRRS）の発生低減対策を立案し、それに基づいた衛生対策を行い、疾病の発生を低減し、まん延防止に取り組みました。

- ・ 推進会議の開催 令和3年5月7日 水戸市 参加者 32名  
令和4年2月9日 水戸市 参加者 19名（リモート開催）
- ・ 検討会の開催 令和3年11月30日 水戸市 参加者 13名
- ・ PRRS まん延防止衛生指導 農家戸数 69戸 指導回数（延べ） 137回

## 2 家畜の疾病予防対策を推進する事業

(1) 家畜生産農場衛生対策事業

(補助：農林水産省、継続) (単独：継続) **公益**

ア 疾病清浄化支援対策

(ア) 牛疾病防疫支援対策

- ・ ヨーネ病対策

牛のヨーネ病まん延防止並びに早期清浄化のために飼養者が自主的に行う検査経費に助成しました。

検査戸数 12戸 : 3,332頭

- ・ 牛伝染性リンパ腫対策

牛伝染性リンパ腫の感染拡大を防止するため、発生農場での重点的な抗体検査や共同放牧場での抗体検査、高リスク牛のとう汰及び吸血昆虫の駆除対策等経費に助成しました。

とう汰戸数 2戸 (2頭)、 検査戸数 77戸 (990頭)

吸血昆虫の駆除対策数 1牧場

- ・ BVD(牛ウイルス性下痢)対策

BVDの清浄化を推進するため、発生農場等の重点的な検査、持続感染牛のとう汰等に助成しました。

持続感染牛のとう汰 6戸 (6頭)、 検査戸数 70戸 (3,289頭)

(イ) 地域生産性向上衛生対策

- ・ 牛マイコプラズマ性乳房炎対策

地域で課題となる生産性に影響を及ぼす牛マイコプラズマ性乳房炎による損耗軽減に向け、関係者と一体となった取組を推進しました。

感染牛のとう汰 延べ2戸 (12頭)

イ 農場飼養衛生管理強化・疾病流行防止支援対策

飼養衛生管理の向上のため、生産者が自主的に指定獣医師等による衛生指導を受けるための調査と、吸血昆虫が媒介するアカバネ病と牛異常産の予防のため、生産者による組織的なワクチン接種に助成しました。

- ・ 調査指導戸数 牛飼養農家 95戸 豚飼養農家 25戸 鶏飼養農家 5戸

- ・予防接種頭数 アカバネ 4,144 頭 牛異常産 3 種混合 2,415 頭

ウ 予防接種事故対策事業

予防接種が原因での家畜事故はありませんでした。

(2) 伝染性疾病発生予防事業

(単独、継続) **公益**

豚のオーエスキー病と牛の伝染病発生予防のため、イバラキ病、牛クロストリジウム感染症 5 種混合及び牛伝染性鼻気管炎の 5 種混合の予防接種を実施しました。

- ・豚オーエスキー病 24,555 頭
- ・牛クロストリジウム感染症 5 種混合 344 頭
- ・牛伝染性鼻気管炎 5 種混合 666 頭
- ・イバラキ病 176 頭

(3) 馬伝染性疾病防疫推進対策事業

(補助：中央畜産会、継続) **その他**

乗用馬等に対する馬インフルエンザと、繁殖牝馬に対する馬鼻肺炎の予防接種を行いました。

- ・馬インフルエンザ 324 頭
- ・馬鼻肺炎 3 頭

(4) 育成馬等予防接種推進事業

(補助：中央畜産会、継続) **その他**

馬生産育成地において、軽種馬の安定的生産を図るため、育成馬の予防接種に要する経費を助成しました。

(育成馬の予防接種)

対 象	予 防 接 種 名	頭 数
1 歳馬	3 種混合補強接種	5 頭
	馬インフルエンザ補強接種	10 頭
2 歳馬	3 種混合補強接種	137 頭
	馬インフルエンザ補強接種	338 頭
	日本脳炎補強接種	42 頭
	2 種混合基礎接種	202 頭
繁殖牝馬	馬インフルエンザ補強接種	3 頭

(5) 野生イノシシ経口ワクチン散布対策事業

(受託：茨城県 CSF 感染拡大防止対策協議会、継続) **その他**

豚熱ウイルスの野生イノシシへの感染拡大を防止するため、豚熱陽性個体が確認された 14 市町、渡良瀬遊水地から利根川沿いの河川敷の 4 市町の野生イノシシ生息圏に茨城県猟友会等の関係機関の協力のもと豚熱経口ワクチンを散布しました。

- ・前期 (5～6 月) 277 か所 5,543 個、後期 (11～12 月) 282 か所 5,640 個

(6) 豚熱ワクチン接種事業

(単独、新規) その他

令和3年9月に知事認定を受け、ワクチン接種に取り組みました。

- ・ 指定獣医師 4名
- ・ 24農場 58,757頭 (令和3年9月～令和4年3月)

3 畜産物の安全性を確保する事業

(1) 牛疾病検査円滑化推進対策事業

(補助：農林水産省、継続) 公益

(牛疾病検査円滑化推進対策事業)

BSE対策特別措置法に基づき、96か月齢以上の死亡牛のBSE検査を推進するため、農家への広報活動や死亡牛の輸送費及び検査費を助成しました。

ア 死亡牛検査処理安定化対策事業

BSE検査を円滑に実施するため、県内で死亡した対象牛について、死亡場所から化製場までの適正な管理輸送にかかる経費を助成しました。

- ・ 死亡場所からBSE検査センターまでの輸送頭数 176頭
- ・ BSE検査センターから県外化製場までの輸送頭数 255頭

イ 死亡牛検査支援対策事業

県が実施するBSE検査に要する経費のうち、農家が負担する経費について助成しました。

- ・ BSE検査頭数 255頭

### Ⅲ 家畜・畜産物の価格補償を行う事業

#### 1 子牛等の家畜販売に係る価格補償を行う事業

##### (1) 肉用子牛生産者補給金交付事業

(補助：農畜産業振興機構 継続)

公益

(助成：茨城県、継続) (積立金：生産者、継続)

##### ア 補給交付金交付

肉用子牛の平均売買価格が保証基準価格を下回ったため、対象子牛に対して生産者補給金を交付しました。

##### ・生産者補給金交付実績

時 期	種 別	頭 数	金 額
令和2年度第4四半期 (令和3年1月～3月)	その他の肉専用種	2頭	45,400円

##### イ 生産者積立造成

##### ・契約生産者戸数 329戸

令和3年1月1日から令和3年12月31日まで

種 別	頭 数	生産者積立金			
		機構 (1/2)	茨城県 (1/4)	生産者 (1/4)	合計
黒毛和種	3,882頭	3,105,600円	1,552,800円	1,552,800円	6,211,200円
褐毛和種	0頭	0円	0円	0円	0円
その他肉専用種	5頭	47,000円	23,500円	23,500円	94,000円
乳用種	1,709頭	5,810,600円	2,905,300円	2,905,300円	11,621,200円
交雑種	4,371頭	6,993,600円	3,496,800円	3,496,800円	13,987,200円
合 計	9,967頭	15,956,800円	7,978,400円	7,978,400円	31,913,600円

##### (2) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業 (補助：農畜産業振興機構、継続) 公益

補給金制度の適正な実施を図るための調査・指導、肉用子牛取引情報の収集をするとともに、協会の運営体制の強化等を図りました。

##### ア 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業

肉用子牛生産者補給金制度に係る事業執行を的確に実施するため、統一電算システムを利用して肉用子牛に係る一連の事務と、家畜市場における肉用子牛の取引情報の収集と報告並びに事務委託先・契約生産者との事務手続き等についての点検、調査及び指導を実施し、業務の的確で迅速な処理体制を整備強化しました。

##### イ 指定協会運営体制支援事業

肉用子牛生産者補給金制度を円滑に推進するため、協会の運営体制の強化を図りました。

(3) 肉用子牛生産者補給金交付事業事務

(単独、継続) 公益

肉用子牛生産者補給金交付事業を実施するための事務を行いました。

2 枝肉等の畜産物に係る価格補償を行う事業

(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度

(受託：農畜産業振興機構、継続) 公益

肥育牛の枝肉価格及び素畜価格の変動により肥育牛1頭当たりの粗収益（関東ブロック平均）が生産費（茨城県平均）を下回った場合、その差額の9割を交付金として支払いました。

なお肉専用種の生産者積立金の払底により、昨年度に引き続き、令和2年3月末日までに負担金の納付期限を迎える肉専用種の牛が販売された場合、交付単価は国費分（4分の3）の支払となっています。また、令和3年5月まで全品種において、肥育生産者の資金繰り対策として生産者負担金の納付猶予を行っていたことから、負担金猶予が行われた肥育牛の交付単価は国費分（4分の3）の支払となっています。

肉用牛肥育経営安定交付金制度 契約者数 160 戸

・肥育牛個体登録状況 令和3年4月～令和4年3月

種別	肉専用種	交雑種	乳用種	合計
頭数	13,083 頭	7,135 頭	3,397 頭	23,615 頭

・交付状況（交付単価）

	肉専用種	交雑種	乳用種	備考
R3年1月	4,542.75 円	17,069.4 円	43,453.8 円	精算払のみ
R3年2月	8,122.95 円	61,906.275 円	48,483.9 円	
R3年3月	—	19,994.175 円	54,922.5 円	
R3年4月	—	—	35,362.8 円	
R3年5月	1,027.8 円	—	21,505.5 円	
R3年6月	6,694.2 円	29,786.4 円	29,786.4 円	
R3年7月	8,063.1 円	40,140.9 円	33,510.6 円	
R3年8月	68,928.3 円	61,515.0 円	29,024.1 円	
R3年9月	34,106.4 円	20,589.3 円	35,327.7 円	
R3年10月	—	17,713.8 円	22,146.3 円	
R3年11月	—	—	33,033.6 円	
R3年12月	—	—	40,420.8 円	
R4年1月	—	—	45,274.8 円	R4年3月概算払済 R4年5月精算払予定

・ 交付頭数、金額

時 期	種 別	頭 数	金 額
令和3年1月期(精算払)～ 令和4年1月期(概算払) (月毎交付)	肉専用種	6,809 頭	103,777,498 円
	交 雑 種	4,403 頭	120,673,915 円
	乳 用 種	4,082 頭	114,725,293 円
合 計		15,294 頭	339,176,706 円

(2) 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務 (受託：農畜産業振興機構、継続) **公益**

交付金の交付を円滑に行うため、契約者や事務委託先などの指導や必要な事務処理を行いました。

(3) 肉用牛肥育経営安定交付金制度事務 (単独、継続) **公益**

肉用牛肥育経営安定交付金制度を実施するための事務を行いました。

(4) 肉豚経営安定交付金制度申請等事務 (単独、継続) **収益**

肉豚生産者の依頼を受け、肉豚経営安定交付金制度に係る申請事務等を行いました。

・ 契約者 42 戸 97,097 頭

(5) 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業 (受託：中央畜産会、継続) **その他**

所得や営業利益を前年度と比較して3%改善することを目的に、飼料分析、血液分析、肉質分析、畜舎の環境改善、経営分析による経営体質の強化のための取組を行った肉用牛経営者等に対して、肥育牛等が販売された場合に奨励金を交付しました。

ア 令和2年度繰越

・ 参加者数 196 戸 ・ 奨励金交付頭数 6,294 頭  
 ・ 奨励金交付金額 125,880,000 円

イ 令和3年度

・ 参加者数 172 戸 ・ 奨励金交付頭数 4,255 頭  
 ・ 奨励金交付金額 85,100,000 円